

校長室の窓から ・'・'・)♪ つないだ^{たすき}襷 ～応援の力～

秋の駅伝大会。澄んだ空気の中、子どもたちが襷をつなぎながら懸命に走る姿に、胸が熱くなりました。走る速さだけでなく、仲間の思いを受け止め、次へと託す。その姿は、まさに希望のリレーでした。

大会前の壮行会では、多くの選手が「最後まで襷をつなぎたい」と語り、「つなぐ」ことの重みを感じている様子が印象的でした。当日、特に心に残ったのは、普段は物静かな生徒が驚くほどの声で仲間に声援を送っていたこと。その声が、走る選手の背中を力強く押していました。また、他校の生徒たちが、わが校の選手に惜しみない拍手と声援を送ってくれたことも、互いを讃え合うスポーツの本質を感じさせてくれました。

応援とは、目に見えない力。誰かが自分を信じてくれている——。その思いが人を強くし、前へと進ませるのだと感じます。私たち大人は、子どもたちの応援者であり続けたい。そして、応援される喜びを知った子どもたちが、やがて誰かを応援する人へと育っていくことを願っています。襷は、心をつなぐもの。今日も、誰かの声援が、誰かの一步を支えているのですから。

走り終えた選手たちに、これまでチームを指導してきた馬場教諭が「みなさんを心から誇りに思います」と静かに語りました。その時、子どもたちに宿る「つなぐ心の襷」を感じたのは私だけではないはずです。

